



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

2/28

原爆先生の話を聞いて、私も実際に当時の被爆地に行、たかのような恐ろしさにおそわれました。私は当時を生きていないので、原爆というものが広島におとされ、大変だ、たのたのということも聞いたことがあっても、今まではそれについて真んかに考えていなかったり、人事のように促していた所がありました。しかし、話を聞いていくうちに、これが人事では全くないこと、日本人としてこれからこのようなことがもう二度と起こらないようにするために一人一人が考えなければならぬのだということを強く確信しました。話の中には、川の中に転がる真赤な死体、まるでゾンビのように歩きまわる原形をとどめていない人など、聞いていただけでも思わず目をつぶし耳をふさいでしまいたくするような内容があり、原爆、そして戦争の生々しさについて恐怖を感じました。しかし、話を聞き終えた今は、私達はそれらから目をそらさず、正面から向き合うことが使命なのだと感じます。私が驚いたのは、当時を知る人にと、原爆資料館は恐ろしさをあつとも伝えられない所だ、たかということ。私達が行、恐怖を感じても、実際と比べるとほんの少しだということ。しかし、私達には分からない部分と、あつめるのは話が違、世界には、15000発の原爆があります。その原爆を一発もおとさないために、私達が未来を変えていかなければならぬと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/28

先日は、貴重なお話をありがとうございました。

私は初めて原爆は7000℃で、太陽よりも熱い我知道了。太陽よりも熱いものが空から降ってくるなんて想像できません。なのに、それを実現できてしまう今はそれよりも進化したものがあるといふ事実がとてつもないです。全てのものが溶け、体中の水分がたった一瞬で蒸発してしまい、影のみが残るといふことにとても驚きました。

そして、池田義三さんが実際に体験した話を伺い私は鳥肌が立ちました。たくさんの方が自分に助けを求めているのになににもできなく、助けようと差しのべた手も上手くつかめなく、逆に傷つけてしまう。たくさんの方が泣き叫ぶ状況はとてつもないほど辛く苦しかったと思います。私は一番驚きとしたのは、原爆資料館で義三さんが「きらいすぎる」とただ一言言ったことです。私は資料館に行ったことがありません。しかし、とても見てはられないものだと感じました。なのにそれ以上に現実はずいぶん、怖いものだと思うと、おそろしくなりました。

私達は来年広島に行きます。今日のお話を死んで学んだことを、忘れてお、二度と戦争はおこらなてはいけないといふことを未来に伝えていきたいです。

先日は、本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

2/28

私はもともと第2次世界大戦に興味があり、特攻隊の本や戦争の記録を何度も見てきました。それを見るたびに、この時代に生まれてこなくてラッキーだと思ってきました。でも実際に戦争を体験した人の話を聞くと、戦争はしてはいけないものだという感情が芽生えました。原爆は戦争を終わらせるために必要だったと言ふ人がいました。私も早く戦争を終わらせるのに必要だと思っていました。平和とは何かを考えるのにも大切な記録になると思っていました。でも昨日の話で聞いた1人のパイロットの涙、たった1kgのウランで何十万もの命が失われるのは、とても残酷なことだ。日本は負けてしまうのに、そんな目に合う必要はあったのか。と思うことができました。もし私が被爆者になったら、想像して見ました。話を聞くと、前の私はぐらせんにも生き残るラッキーな少女だったと思います。今は被爆したらどんなに痛いだろう、どんなに辛いだろうかと考えることができません。また戦争の時代に目撃したように、広島、長崎にいただけで消えてしまった被爆者はとても不幸で、私があなたに命の尊さを教えてくれました。今も世界中に当時の1000倍の力の原子爆弾が15000コあると言います。日本での原爆の話は、これがもし世界に発信したら、原爆が住む世界が来る日と私は信じています。戦争はもう二度としない方がいいことと胸に誓い、来年度修学旅行に行きたいと思っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

2 / 28

私は小学5年生の夏に広島県、原爆ドームへ行きました。当時、日本に原爆が投下されて7年の年ということもあり、平和記念公園周辺には外国人や日本人の観光客が大勢いました。そのことから私は(戦争なんて...)と軽い気持ちで目をむけていました。ですが先日の話を聞き、今は(日本のために...)と前向きな気持ちで向き合うことができています。きっと今までの私の考えを変えてくれたのには、2つ理由があると思います。

1つは「ヒロシマの九日間」の主人公、池田義三さんの実体験。2つは被爆者、死者の痛々しい傷の様子を語る原爆先生の話し方と分かりやすい動作。そして何よりも驚いたのが、爆心地周辺で衝撃波を受けたのにも関わらず数名の隊員が軽傷で済んだ、ということ。どんなにつらくとも死者の焼却をやめなかった根性の強さ。被爆者を1人でも多く救おうと努力した姿が目に見えます。

「戦争に二度と起こしてはならない」とこの言葉は、今の私に使えると思います。戦争の体験談の言葉、一つ一つにこめられた力強い思いを私は感じることができました。そして特別授業を通して、感じとったこの複雑で痛々しい、生き苦しい感情を未来に残していきたいと思います。





# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/28

私は原爆先生の授業を受講して改めて原爆の恐ろしさや戦争の悲惨さを知りました。先生のお話の中でも印象に残っている場面は、原爆が落とされた後の町の人々の様子です。皮ふがはがれ、全身がどけこの状態、真黒になってしまった人もいれば、そのままセクナ、た人だ、って...先生のお父様がその人たちを助けようと思ひ引、張った時の手の皮がむけたとき、人を引上げるときにその人の手がとれてしまったとき、道を歩いている人は必死を覚悟して走り、背元から赤黒いものが下へたれていくと、その時の恐怖、苦しみ、死に思ひする"顔"をしかめくし、苦しむ姿、今まで聞いた話よりもずっとリアルで心がしめつけられたように感じました。その町の人たちの様子をお父様は直接、自身の目で見て、まるで地獄のような時を体験しています。最後に見せていただいた五分程度のビデオ。お父様は涙ぐんでいました。言葉にしてもしきれないくらい悲惨な出来事だと話していました。どれほど辛かったか、どれほど悲惨で心苦しかったか。私は実際、原爆を落とされたことも戦争を目の前にしたこともないのでその辛さは完璧には分かりませんが、今回の話を聞いて、原爆や戦争を反対する気持ちや恐怖心が強まりました。このことを後継者に伝えていこうと思います。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/28

私は、広島や長崎に原爆が投下された。そして、多くの方が被害を受け、今も苦しんでいる人がいるという浅い知識しかありませんでした。しかし、今回実際に話を聞いたことで、原爆や戦争に対する興味が増えました。そして、たくさんの衝撃を受けました。第一印象に残っているのは、原爆が投下されたときの様子です。映像を見たとき私はびっくりしました。さっきまで階段に腰かけていた人が次の瞬間、黒い影のしみがあただけで、姿も何も残っていませんでした。3000℃の熱があたるとこんな風になってしまうこと、そして、原爆の威力を知ることができました。また、生き残った被害者の方が、全身にやけどをおい、皮が剥けて右おう左おうしている様子が頭に浮かび、とても悲惨な現場だ。たことを知りました。その他にもリトルボーイの重さや長さ、温度や原爆投下都市の条件、候補に選ばれた都市などたくさんのお話を学ぶことができました。また、義三さんが実際に体験した死体処理や、消化作業などを行った九日間もその場に自分がいるように感じることができました。私はその場にはいってはいませんが、戦争を体験したわけではありませんが、私が今回たくさんのお話を聞き、学べたことを自分の次世代に伝え、二度とくり返さないようにしたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/28

先日の原爆先生の特別授業を受講して、僕はたくさん  
さんのことを学ぶことができました。僕は歴史が好きな  
ので原爆の被害のことは知っていましたが被爆直後の  
広島の様子がとても想像しただけでもぞっとするような  
恐い感じてました。原爆を投下の条件や投下候補に  
京都が入っていたり、原爆を投下する時のアメリカの  
様子など始めて知ることがたくさんありました。今回の  
特別授業で一番印象に残ったのは、被爆直後の被  
爆者の生々しい様子がとても印象に残りました。  
例えば、被爆者たちの皮膚が垂れ下がる様子や手を握っ  
たとき皮膚がはがれたりしていたことがとても印象に  
残りました。そして、あまり知らなかった長崎への原爆投下の  
ボックスカーの状態や投下場所がずれたり、多くの  
事を学ぶことができました。しかし、今回学んだことは74年前に  
本当に起っていたことだと知るととても怖くなります。今日も  
核ミサイルの問題がある中、今回学んだことを活かして  
二度と原爆を使わない、戦争をしないように、今から  
自分ができることを考えて行動していきたいです。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/28

私は、原爆先生の特別授業を通して、沢山の知識と悲しみや原子爆弾の偉大さを知りました。1945年8月6日午前8時15分に起きた事件は、誰もか予想してない出来事だったと思います。約47もある原爆は広島に投下されました。当時17歳だった義三さんはとても悲かな経験をしたことと思います。皮が剥がれ下がり体中は赤くやけど、その中でも生きたいとねがっているから一生懸命に痛みと戦う人が数多くいたと想像するだけで悲しい気持ちになりました。原子爆弾は球体で外側は7000℃内側は100万℃だと初めて知りました。今、目の前に落ちてきたらと考えるだけで、とします。原子爆弾は投下するべきではなかったと思います。戦争中だったから仕方なかった、で済まされるほど軽い物ではないと思います。原子爆弾によりうばわれた沢山の命をそまつにしなかったために、私達は今を生きなければならぬ使命があると思います。あの一瞬の出来事を忘れずにこれから未来へつなげていきたいです。原子爆弾が投下されたという事実と授業で得た知識を抱えてこれからを真実に生きていこうと思います。私達に大切な事を教えてくれたありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2 / 28

先日は、特別授業を行ってくださりありがとうございました。

私は、特別授業を聞いて、おどろくことや、初めて知ることばかりたくさんありました。まず、前半の時、原爆が落ちてくる時を再現していただき私は、静かな空間をいっしょんにして、震えてしまうのだなと思いました。さらに、原爆が落ちた時、何も変わらない日常がいっしょんで火の海となり、大切な人に何も言えずに死んでしまおうのかと心臓が痛かったです。被爆者が必死に痛い皮膚をかましながら助けを求めていて、助けようとした時、皮膚がはかゆいおいて私には何も言えないものでした。

原子爆弾投下に条件があることを初めて知りました。私は、広島と長崎に落とされたのは、ぐうせんかと思っていました。しかし、条件に達して、さらに候補からしぼり出されたのだと、知りました。原子爆弾「リトルボーイ」を落とされた爆撃機「エノラ・ゲイ」は千ベットの母の名前と初めて知り、おどろきました。長崎では、トランクルがあり3回の失敗で45分時間をつかっていることを知りました。悪天候で、つたけ長崎が見えただけなのに、どうして無理に原爆をおとしたのか、私には、わかりませんでした。原爆の威力が思っている以上にすごいと思います。人がいっしょんで蒸発し、炭になってしまうまで、熱がすごいと思います。義三さんが、原爆資料館で、見た人形を触れたとつぶやいた時、私は、原爆を体験し、本物を見た人には、人形などでは表せないほどの苦しい苦しみがあると思います。私は終戦のために本当に原爆を落とす必要があったのか



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2 / 28

先日は、私たちのために先生の話を教えていただき  
 ありがとうございます。話していただきは知らなかったこと  
 ばかりでも印象に残りました。その中でも私は原爆が投下される  
 音、なぜ広島が投下される場所に選ばれたのか、原爆の影響などが  
 心に印象に残っています。はじめに聞いた原爆が投下されたときの音は  
 聞いていたけど身をふるわせていたぐらいの怖い音でした。そして  
 広島という場所に原子爆弾が投下されるには理由があり、  
 直径5kmを超えている、平野がある、そこのに空襲がなかった、都市という条件  
 を満たしているというのを知り、原爆投下は先生の計画のうえでは  
 被害があることがわかっていたのに実行したという事は本当に怖いことと  
 感じました。その原爆投下による影響と被害、落ちてきたときの衝撃は  
 は、人が一瞬で死んでしまうほどの力があり広島に住んでいた人の  
 5人に2人が亡くなるような割合で、人間なのに人間のかたちで  
 いられなくなるぐらいの被害があるという事はこれから先絶対に  
 あってはいけないことだと思われ平和について正しく理解し、なか  
 りと考えなければいけないことだということを改めて実感する  
 ことができました。授業で学んだことを忘れず、今後の生活にいか  
 してまいります。本当にありがとうございます。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2 / 28

先日は、私たちのために遠い所からおこしいたごき、ありがとうございますが  
 いました。私がお話の中に出された人々の状況や投下の条件、爆弾  
 の威力にとりもおどろきました。人々の状況としては、トラックの荷台に  
 人を乗せたりと力と皮ふがずれ落ち、うしろに乗せられたりなど聞いてい  
 だけでも痛々しく、歩く時には、手を斜め前に出して、脇ごの手擦が  
 起こるような状態など、今では考えられない状況に身をおどろか  
 したお話でした。でも、どのような人が当時、実際にたくさんいたのだと  
 考えると原爆のおどろかしを感じました。そして、投下の条件からは、  
 私がお話した場所がくわ然に広島と長崎だと思っていました。くわは山、  
 扇状地や平野、山ごの条件があり、計画的に落とすことをご知りませんでした。  
 さらに、爆弾の威力は、強く、太陽も熱く、あちこちの建物を粉々にし、  
 人が一瞬ご消えるほどご知りませんでした。そして、原子爆弾には  
 おどろかし力がある、今はこれが、当時、何倍もの数が今ごにあると聞き、  
 とりもおどろかしを感じました。そして、私の心に一番響いたのは、最後の先  
 生の父である義三さんが泣きながら、お話を語っていたことで、そして  
 原爆は、人々を苦しませ、かたしませるものごだと実感しました。  
 私は、今回のお話から原爆は「絶対にあってはならないもの」ということ  
 がより一層に強くなりました。今後の原爆への学習を通じて、次の年代へも  
 このようご悲惨さを伝えられると良いと思っています。貴重なお話ありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2 / 28

先日は、原爆についてたくさんのお話を教えてくださり、ありがとうございました。  
私は、この授業を受講する前までは、原爆が落とされた場所と日付くらいしか知らず、原爆を体験した人の苦しさや悲しさをあまり知りませんでした。なので、この授業を受講できて、本当によかったと思いました。  
原爆の表面は太陽よりも熱く、爆発したとき、外にいた人は一瞬で消えてしまい、コンクリートに黒いあつだけが残ったと聞き、ウラン1kgが核分裂を起こしただけで、こんなにたくさんのお人を亡くしてしまうという事にもとても驚きました。義三さんは、原爆が投下された後、消火を行い、死体を探し、焼き、助けを求め、人を助けられないという無念な気持ちを知り、私は、原爆が投下されたら、生き残ったほうが死ぬよりもずっと辛いのではないかと、思っていました。長崎では、投下目標地点から3km離れた場所に投下されました。もし目標地点に投下されていたら、さらに被害が大きくなっていたと思っていました。広島でも、死亡率は40%で、5人に2人が亡くなっていて、原爆は本当におそろしいものだと思います。現在、投下された原爆よりも、ずっと強いものが、世界中に約一万五千あると聞き、これは絶対に使っては行けないと思っていました。この授業をとおして、本当にたくさんのお話を聞くことができて、この知ったことを、私たちがさらに未来に伝えていかなければならないと思っていました。本当にありがとうございました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2 / 28

授業を受講して、私は、広島原子爆弾投下について、今まで考えたことないことや知らなかったことをくわしく知ることができました。

例えば、私は原子爆弾投下について、なぜ広島に投下されたのだろうと普段考えることがありました。その疑問を、今回の授業でくわしく知ることができました。また、京都に投下しようという考えがあったことなんて知らなかったので、知ることができてよかったです。

そして、私が一番心に残ったことは、原子爆弾の威力についてです。太陽の表面積よりもはるかにあつい7000°Cのものが地上からすぐ近くにあり、地面のアスファルトがすぐに溶けてしまったり、真空地帯に打ってしまったことで、40%の広島の人々が死んでしまったからです。今まで私は、原子爆弾が投下されても、逃げれば何とかなるんじゃないかと甘く考えていました。でも、思っている以上に原子爆弾の怖さを知りました。

今回の授業で戦争は本当にかさしてはならないものだということが、あらためて知ることができました。これからこの戦争と原子爆弾について自分から考えたり、何かできることを探していきたいです。

先日は、お忙しい中、貴重なお話をさせていただき本当にありがとうございました。戦争について深く考えるきっかけになりました。5月に広島に行くので、今回の授業のことを考えながら見学をしたいと思います。





名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/28

私たちのために お忙しい中、貴重な時間を割いていただきありがとうございました。お話を聞き、自分の全く矢張り事のなかつた候補になつた着陸の大きなラフの条件や広島に落ちた核爆弾リトル・ボーイの色々な構造も矢張りことができ受講することで新たな発見をすることができました。実をいうと、私は広島に原爆が落ちた「何故 今になってそんな話をするのだろうか。」と不思議に思っていたこともあり、「聞いてどうするの」と思いすらしました。ですが、原爆を自分の目で見て、体験した方のお話を聞くと、想像をこえるほどの体験談の数々、人がこれほど簡単に死んでしまうという恐怖や絶望感、体験した方が分かる話は私の考えよりも心をとても動かしました。考えてくることさえなかつた被爆者達の思いや痛み、私がきっと考えたところで被爆者達の痛みなど分かるわけもありませんが、三年生になつたら行く広島への研修は心を改め真剣な思いで痛みや苦しみをかみしめて行きたいと思ひました。

今回、受講をして原爆について深く考えることのできる良い機会になつたと思ひます。これから原爆について深く考え、戦争といった悲劇をまた、起きないように真剣に考えて行くべきだと思ひました。

貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。

このことはこれから忘れないうようにしていきたいと思ひます。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

2/28

先日は、私たちのために原爆について教えていただきありがとうございました。

僕が、原爆先生の話を聞いておこなった事が多くありました。

まずは、原爆を受けた被爆者についてです。

自分はまったく無関係なのに急に命をうばわれるむなしさ、悲しさ、そして怒り

多くの人々がじりじりといいためつけ跡を亡くなっていくすがたが頭にうかびました。

3000℃の熱が体にあたる、そんな事を思っかけて原爆のおそろしさが伝わってきました。

次は被爆者の家族です。

急に家族を失った悲しさが一番におそろしく思いました

もし自分の家族が無関係、無意味な原爆にまきこまれたと思ったら、悲しみ、

怒りが巻き上がり、今後生きていく中、急に家族を失ったという重みをかかえ

て生きていくすがたが思いおこりました。自分の家族がやりたいこともまとも

にできず亡くなってしまふ悲しさがとても心に刺さりました。

生きている人も亡くなってしまった方も急に周りの人の命、自分の命をうばわれる

悲しさ、僕は、先生の話を聞いていてそれが一番伝わってきました。

原爆な人が降と意味がない、降としたらどなたかの命が失われるのか

考えてほしい。僕はそう思いました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/28

先日は 原爆のお話しをして下さり ありがとう"ございました"です。

原爆先生のお話しを聞いて 私の知らない"たことか"たくさん  
 知りました。私は原爆"について"少ししか知りません"で"してか"  
 先生のお話しを聞き、原爆のおそろしさ、助け"て"あげたいけど"助け"て  
 あげられない自分の無力さを"実感"することか"で"きました。先生のお話し  
 を聞いて"印象"に残っているのは、やけどを負った人を助けようと思っ  
 て手をさしのが"たのに"自分が"さ"わ"て"しまった"ほ"かりに"手が"落ちて"しまうことか"  
 と"も"バ"に残りました。助け"た"けど"も"自分のせい"で"手を"な"して"しまう人"を  
 いるんだ"と思"い"本当"に助け"た"けど"も"助け"られ"ないんだ"と"感じ"ました。  
 もう1つ"印象"に残"て"いることか"原子爆弾の威力"です。私は原爆の  
 おそろしさを"お話し"を聞"く"前は"本当"に"か"しの威力"だ"らう"と思"って"いました。  
 "でも"原爆の威力"は"と"ても"おそろしく"7000℃"の"原爆"が"落ちて"くると"人"を  
 "す"ぐ"に"溶"けて"しまうんだ"と"初めて"知ることか"で"きました。太陽"よりも  
 熱"い"ものが"空"から"落ちて"くるとは"お話し"を聞"いた"後"で"も"想像"可  
 ることか"で"きません。"でも"おそろし"の威力"があることは"分かり"ました。  
 原爆先生のお話しを聞き、これから先"絶対"に戦争"は"して"ほ"い"けない  
 もの"で"私たちは"これから"先"も"原子爆弾の威力"を"心に"とめ、戦争の  
 おそろしさを"いろいろな"人に"伝え"て"いか"ない"は"い"けないんだ"と"強"く  
 思"いました。お話しをして下さり、ありがとう"ございました"です。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/28

私は、今回の特別授業を受講して、今のこのごく普通の生活をイキイカという感じがとても幸せな感じが思いました。私は、今までにも戦争や原爆のことについての話を認んだり、見たりはしていましたが、今回の話を聞いて、私が想像していたよりもはるかに悲惨なことに、そして、原爆を経験した人ばかりに語られる真実もあり、はせな島、長崎に原爆がおとされたのを知ることができました。義三さんが被害にあった人たちに助けを求め、手をさしのべたことが助けを戻すことが出来た。というのを聞いて、人の心は、そんなに強いのだろうか。体が強いの、心は感じているのだからと想像は出来ても、できませんでした。私たちが想像もできないような体験をした義三さんが、原爆資料館へ行き、そのときの人の姿をあらわした人形を見て、「きれいすぎる...」と言ったときは、その人形でも、言葉を失ってしまった。その時に、義三さんが見たものは、想像は状態だったと思うと、とても胸が痛いです。これからは、今の生活を大切に生きていこうと思います。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/28

僕はこの話を聞く前は原子爆弾が広島と長崎に落とされたぐらいしか知りませんでした。話を聞いていて、エノラ・ゲイという飛行機がリトルボーイという原子爆弾を広島に4kmも離れた所から投下したと聞いておどろきました。しかも目標地点のすぐ近くに落とせるアメリカ軍の兵士はすごいと思いました。

原子爆弾の破壊力にもおどろきました。爆心直下にいる人を一瞬で炭化させ440m/sの衝撃波でそれをくたき粉々にするその破壊力には恐怖を感じました。さらに爆発後はその場をほぼ真空状態にするところや放射線をそこにまきちらしていくなど、なぜ人間にこんな事ができるのか全く理解できません。

さらにこんな事があったのに核爆弾の改良や実験、保持を続ける国がまだまだいて、核も2の世にはまだ無数にあるという現実をどうにかしたいと思いました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/28

原子爆弾という、恐ろしいものだ、くらいのこと  
知っていましたが、それがどう恐ろしいのかを知る機会  
今までありませんでした。この特別授業では、詳しい  
原爆の話や原爆先生のお父さんの実体験の話  
を聞くことができました。

前半の、実体験の話からは、広島を、口で語る  
には難しい、被爆の様子が伝わってきました。

後半の、原子爆弾の解説からは、具体的な  
数字や、投下候補だった者師など、原子爆弾  
について詳しく知ることができました。

しかし、私たちはお話を聞いただけで、  
実際にその当時の状況は想像を上回る  
ほど悲惨であったと思います。そう思うだけでも、  
原子爆弾というものがどれほど恐ろしいものか、と  
この授業を受けて感じました。

5月の修学旅行で、広島を訪れたときも、  
この授業で学んだことを生かしたと思います。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/28

私は原爆について、詳しい事は何も知りませんでした。今回の特別授業で、その恐ろしさや悲惨さについて、改めて考える事ができました。原子爆弾投下都市には条件があり、さらに天候なども関係してくるという事は、今回受講して、初めて知る事ができました。私は今まで、ただ「原子爆弾は恐ろしい物」という表面上のとらえ方をしていました。しかし、表面温度は太陽よりも高く、一瞬にして全て溶けたり、蒸発したりして消えてしまうという事、今の世界の技術では、それ以上の事ができてしまう事、そのような物が現在、1万5千発も存在しているという事に、驚きと恐ろしさを感じました。原爆先生のお話を情景を想像しながら聞いてみると、私か思、ていた以上にそれはひどい事であり、決して忘れて良い事ではないと思いました。私はまだ14年しか生きてはいないけれど、それ程遠くはない過去に、日本でこのように事が起きていて、それなのに今、不便の極み暮らしができていているという事は、すごい事なのではないかと思いました。今回学んだ事について、学んで終わりではなく、もっと深く考え、さらにそれを他の人にも伝えていって、日本の過去を知り、今の生活が幸せだということを理解しておく必要があると思いました。



# 原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/28

「原爆先生の特別授業」を受けると、私は原爆とは「ただ」  
 のもの、その程度しか知りませんでした。しかし、前半の池田  
 義三さんのお話と知り、原爆についてのくわいお話を聞き、当  
 時はもっとおそろしいもので、もう絶対にお叱りはいけな、という  
 とが「よく分かりました。例えば、広島市の元町1丁目に向かう  
 と中のことなどです。「逃げ」てくる人々が「人間の容貌では無い」とい  
 は、以前読んだ本で知っていたものでした。しかし、手と足に  
 火、とれてしまう皮、真赤な全身、18分前に出し手など、  
 細かく、生々しい、本には書かれていない「現実」を教えて  
 くれたお話を、そして、当時の爆心地の写真も過酷な  
 現実を語ってました。川の水が「蒸発」させられる、黒や灰色  
 の世界、全てが「おそろしく、鳥肌がすくわ、た、てました。また、  
 原爆の被害だけでなく、その原爆にかつてもお話し  
 していただきました。リトルボーイの表面温度は7000℃だ、という  
 こと、ラジオソングというものが「いっしょに落とされて」いたこと。  
 知らないことばかりでした。広島市の平和記念資料館に  
 今年、私にも行く予定です。しかし、そこでは「学」が中心  
 のではない、知っておかなければならないことを私は学  
 べた気がします。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/28

私はつい最近、原爆のことを知りました。前までは昔の何かの事件かと思、  
いたけれど、今の戦争でおきたこと、そのおそろい、たくさんの方が亡くなった  
こと、というとてもこわい出来事、この先、あ、ではいけないことということが分かる  
よくなりました。だから、この原爆先生の話聞いて、原爆について知らなかった  
こと、こわいことがたくさん分かりました。広島に落とされた時、爆心地の近くに  
いた人々が、「手足が顔にやけどをおおて、手を、前方にたれさげている」という言葉  
を聞き、その人達を見た兵隊さんの気持ちが悪くわかりました。助けていけど、助けれ  
ない状態を想像すると、とても胸が苦しくて、悲しい気持ちになりました。

おおよそ7000～1000000と、この太陽よりも熱い原爆のことを考えると、体験したことな  
い自分でも、そのこわさ、おそろいさが分かりました。死者達を見つけてかき場へ運ぶ  
兵隊さん達のつらさと悲しい話を聞いて伝わってきました。長崎にも原爆がおとさ  
れた時、外にいた人は一瞬で消えてしまったことを聞いたとき、すごくこわい気持ちになり  
戦争や原爆のおそろいさがあらたに分りました。戦争や原爆について考える  
と、とても切なく悲しい気持ちになり、なみだが出そうになります。戦争や原爆で  
亡くなった人、病気になる人の事を考えるだけで戦争はとてもおそろいこと  
なんだと思います。この悲しい出来事のことを忘れずにしていきたいと思います。  
この先、起きてはならないという事、そして原爆のおそろいを、まだ知らない人へも  
教えていきたいなと思っています。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/28

今回の原爆先生の特別授業を受講し、今まで知らなかった原爆投下についての事を知る事ができました。また1発の爆弾で、広島と長崎の町を焼け野原にしてしまった原爆は、とても恐い物だと言う事を改めて感じました。お話を聞いていく中で、私には、池田義三さんが見た景色が頭に浮かび、とても恐いと思いました。また、原爆を落とす候補になった都市が広島や長崎のほかにも、4都市あったという話を聞いてとてもおどろきました。そして後半の話にもあった原子爆弾の威力は、とても強い事も知る事ができました。原爆が爆発した時の中心部の温度が100万℃、その表面の温度が7000℃で太陽よりも熱く、衝撃波の速さが音よりも速く、私には、人たらの事を思うととても痛々しく思えます。今回の授業を通して、戦争の恐い事を改めて実感しました。また現在でも、戦争の影響で苦しんでいる人がいると思われ、戦争はもう二度と起ってはならないと改めて思いました。そして世界が核兵器をなくして世界中が平和に暮らせる国になってほしいと思います。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/28

今回の授業を受ける前までは、戦争は、ただ、たくさんの方が亡くなってしまふと考えていただけでした。しかし、授業を通し、ただ亡くなるのではなく、最後まで、もがき苦しみ、人間の姿がない体がたくさんいる状態で、それを見ている方も、助けたいのには、助けがゆだねられ、亡くなった人も、生きていた人も、戦争は、その人たちの人生を台無しにするとしても、ひどく、衝撃的なものなんだと思いました。

本当に小さな、原子力、人の手で作ったものが、たくさんの方の罪のなしい人を殺したということに、私は、とても腹が立ちました。その日に、生まれたい子供、なにか大事なことがあった人、いつも通り、仕事に行っていた人、幼い子供の夢までも、一瞬にして、消えてしまふ、本当に戦争は、恐ろしいと思いました。資料館に行つたときの義三さんの一言、「すくすくする」と言ったことも、本当の戦争の恐ろしさは、これにいい、その目で見た人にしか分かりません。将来、もし自分の子供ができたら、戦争の悲惨さを、教え、いつまでも引きつらいつたててあげてあげます。まずは、身近な家族から、戦争について話したてあげます。

今回の授業を受け、更に、戦争は、絶対にしてはいけないと強く思いました。本当に貴重な話を聞け、とても良かったです。もう二度と、戦争は、起こしたくありません。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/28

私は今まで「原爆」という言葉は知っていましたが、あまり深くは知りませんでした。しかし、原爆先生の特別授業を通し、たくさんを知ることができました。

まず、原爆を投下する候補になった都市が6都市もあったことです。その中で広島は町の中心に落とされたことがわかりました。

次に、落とされた所にいた人たちは、ひかりがただれ、全身におおやけどを負い、爆心地に近くなれば、怖く人間のようなものに変わっていったことを知りました。地面では3000℃の熱があつくて服をぬぎ、川に飛びこんだ方は3000℃の水であつたので、おたどりに入ったのでゆでたこのようになつてしまつて、痛くじやおさまらない生きじごくのようなものだと思いました。

たったゴルフボールくらいの大きさが核分裂しただけで広島は壊滅されました。今は技術も発達しています。二度とこんな悲惨なことがないように、しっかりと物事を考えていきたいと思いました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/28

私は、原爆について、少しは知っているつもりでした。「はたしのゲン」も読んだし、「ヒロシマのロカ」も読みました。それだけでも十分、ぞっとしました。だから、原爆資料館へ行って被爆者の再見もついでに見た義三さんの「されいおる...」という一言に、大きな衝撃を受けた。母も、私が「はたしのゲン」を読んだので「本当にも悲惨だ夫らしい」と言っていたからです。防火水槽の中で亡くなっていた人は、どんな気持ちだったのだろう、と思うと、胸が痛む。熱さから逃げないと、やっと思いで水の中に入ったのに、それでも胸が焼けたと、必死で逃げたのに、それでも、何も意味がなかった、そう思うと、切なくなります。原爆ドームは、直上で破裂したため、かろうじて無事だったと思います。核の力を試す実験だ、ということですが、その実験のせいで、大勢の日本人が死ぬ、なんてことは、決してあってはならないか、夫々と思いはす。その実験のせいで、一瞬で焼け野原にはなった広島、長崎。大勢の日本人が死んでしまった。こんなことは、もう二度と、世界のどこでも起きてほしくないです。でも、世界には1万5千発の核兵器があるという事実に、ふるえが止まりません。この授業をとおして、改めて、核兵器のおそろしさを再確認することができました。とても貴重な経験にいたしました。本当にありがとうございました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/28

私が今日の講義で言ったことはたくさんありますが、1つ目は、

原爆の悲しきできごと、たくさんの方の命と心をうばった

町を平地と化し、樹木などの木々も枯れ、ものを壊し去った

人目人の姿でいらぬ様子は、一瞬にして命が消えてしまった、

身を寄るお蔭がなかった川は蒸気となり、何もかも壊れてしまった

子供の死体は一人もなかったけれどもとても悲しいし、心が壊れてしまった

しるすめに、全体の40%の方が原爆にさらされたおぼろげな状態。私は

義三さんの実際に体験したことを今回聞いて、日本の過去にこんなことが

あったのかと、酷いという一言では言い表せられないことがおきたのか

かと思いました。それだけ方はたくさん、痛みはたくさん、必死に生き残る、

そしてそれを目の前にして、今でも苦しむ人、そして亡くなった方の分まで、種族

うけとる人、その犠牲を悔やみ、当時の人たちの心を全て理解することはできま

せんが、想像することはできると思います。そして、それだけではない、10人の犠牲は

深いと思いましたが、今でも、それだけ外国との関係は良好に続いている。元々は

それが私たちの決まっていたことには、いかなる思いもありません。アメリカの人は、こんなことをしては

いけないと思わなかったのか、と思います。大抵はそれだけと、その結果、

のせいなのか。27日の爆弾を落とされたことは、私自身も知っていることなのか。

このように思っている人は、どんな形でも、残りの人生をどう生きるか。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/28

私は正直 原爆についてお知りませんでした。

ただ日ごろを知ったリ、写真や現在の状態を見た  
とがあるぐらひ下した。でも、今回の原爆先生の授業を  
通って多くのことを学びました。一番印象に残っているのは、  
「池田義三さん」の「きれいすぎる」という一言がとて自分  
の中に入りました。どう再現しようと思ってを實際にあの  
苦しみを体験した人だけがわかるのだ。ととて感じました。  
授業をしてもらう1時間前日本語で「目撃者の眼」という  
原爆のお話をして学びました。やはりとてんたけ時間 飛たとうと、  
あの時見た風景をわかることはない。そしてそれを 原爆  
資料館 などで 将来の人たちを少しとてあの時の苦しみを理解  
してもらうことが大切だと感じました。そして、このあたり前の日常  
たてて数秒たててきえなってしまうかもしれない。たてて1分1秒  
を大切にして「幸せ」をしっかりと感じることをできる人がいたらいいと思  
いました。そして 絶対に戦争はしてはいけない。と心を強く  
感じました。3年生からたてたら原爆ドームからいきます。たててこの授  
業を学んできた資料館で見るものよりとて、とてとて苦しい  
状態だとたてたらと、しっかりと学んできたのです。

本日は、このような授業をいけていたたてた本数をありがとうございました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

9/28

いつも通りに生活しているけれど、いっしょんで自分たちが住んでいた街、家族、たくさんの人や物がなくなってしまうのは、どんなに悲しくて、悔しいのかも、その時に思った感情は経験した人ばかりに分かるしと感じていました。しかし、原爆先生の話を聞き、原爆のおおろしさと、そのときの様子、思いを知る事ができました。「戦争は二度とやってはいけない」と言っているおばあちゃんやおじいちゃんをテレビで見たことがあります。私も知り思っていました。しかし、戦争は危ないからだとあまり深い理由をもっていないで済んでした。先生の話を聞いて、どんなに自分の考えがなかったのかを考えたおりました。どうも、鉄が溶けてしまう以上の温度の火が降りかかると空から落ちて来ると考えたけれど、私には想像することができませんでした。

私は、先生の話を聞いて、戦争は、二度とやってはいけないと思いましたが、なぜなら、戦争といふのは、とても危険で、いっしょんで多くの命をうばってしまうからです。私、おじいちゃんにあっては原爆は投下してはいけないと思いました。私がおは、修学旅行で原爆ドームへ行きますので、もっと早くに原爆について学べたらと思います。私たちに話をしてくださり、ありがとうございました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/28

僕は原爆や原爆が落ちた広島や長崎のことについてあまり  
 考えたことがありませんでした。毎年8月6日になると、テレビ  
 やラジオで原爆に関するこのことについていっていました。自分はあまり  
 関心を持っていませんでした。ですが、先日「原爆先生の特別授業」を  
 通じて、意欲 関心を持ってました。特別授業が終わり家に帰ると  
 原子爆弾や広島長崎、その当時の様子についてたくさん調べました。  
 祖父にも聞いたりしました。そこでいろいろなことがわかってくるうちに、  
 真徳様の父、義三様の言葉が頭に浮かびました。「亡き被爆者へ、亡き  
 親友へ。私も祈っています。唯々冥福をお祈り。」と。  
 原爆先生の語りに感銘を受けたのは、原子爆弾のおそろしさです。  
 おそろしさ。特に熱線についておそろしかったです。太陽が熱いので  
 体の水分が一気に蒸発にしようとする聞いたことありません  
 とおそろしさを。他にも衝撃波や放射線なども  
 おそろしさを。衝撃波と体が粉々になる、たり放射線  
 と原爆病が残ります。今も聞いている人もいますと聞か  
 ました。本当に苦しいものだったのだ。  
 原爆先生、池田真徳様、大切お願い中。私たちに話をしてくだ  
 さり、本当にありがとうございました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/28

原子爆弾の重さを知らなかったのも、エノラ・ゲイに つんでい  
た原子爆弾の重さが4トンあると聞いてびっくりしました。4トンのものか  
もの重さ、スピードで落ちただけでも切草の力があると思っただけで  
それが爆発した時には考えられない程の力が出るのだと思っただけで  
原子爆弾をおこなった気候が良くなければいけないと初めて知ら  
ました。原子爆弾投下都市の条件が3つあることを初めて知ら  
ました。危険な原子爆弾をもっと効果かてやまいと3つで落と  
たらと考えるようになった。候補となった都市が6つあったことを知り  
おどろきました。ラジオで風向き、気圧などをかいていたことから  
投下に向けての計画が立てられていたのだと思っただけで  
写真を撮るための飛行機も飛ばしていたことを知りおどろきました。  
飛んで逃げたエノラ・ゲイでさえものすごい衝撃波を2回受け  
たの聞いたので、爆心地が受けた衝撃波は、たぶんものたつたの  
だと思っただけで、ぼくは最初 原子爆弾は熱がたつたと思っ  
ていました。人が水分が1.4人で蒸発し、炭になり衝撃波でたつたに  
たつた聞いたので 衝撃波も強いことが分りました。僕は今日の話を  
聞いて原爆では多くの人が苦しむことになるので、糸色村に落と  
してはいけないと思っただけで、今では世界中に1000倍の11人をつ  
原子爆弾が あるので、今でもその爆弾をばらばらでたと思っただけで



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/28

先日、授業で、原爆は本当にひびきのボビーを改めて実感  
 しました。また、今の日本は“平和ボケ”しているといわれているくらい戦争  
 なじみがあったように暮らしているが、今回このお話を聞いて、約70年前  
 がすごく最近の出来事のように感じられました。京都に落とす  
 予定だった原爆を落とさなかったのは、伝統を守りたいという  
 阿州人の優しさということが分かりました。でも、その優しさを持っているの  
 なら、原爆を落とさなければいけなかったです。また、小倉の天候が悪かった  
 から小倉の人は助かったけど、長崎の人はやられてしまったし、もしも  
 小倉の天候が良かったら長崎の人は助かるけど、小倉の人たちはやられて  
 しまっただけで、すごく胸が痛くなりました。話を聞いている間、私はずっと  
 広島、長崎、小倉の3つの天候が悪ければ、原爆は落とされなかった  
 のに…。と思いました。原爆が落とされた瞬間には生きている人が  
 何と多くいたということ、原爆襲撃セーラーさんの手前を歩いたことに  
 原爆のすさまじいいばくを感じました。また、今、世界に15000発の  
 核兵器があると聞きました。持っていないとって持っている国もたくさん  
 あると思います。おんなが核を持たなければ戦争も、核をもつ必要性も  
 なくなるのになと思いました。世界中の人に原爆のひびきを知ってほしいと  
 思いました。原爆も戦争も、この世の中から根絶してほしいです。  
 先日は、私たちに平和のありがたさ、原爆、戦争のひびきを教えていただき、ありがとうございました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/28

昨日の特別授業を受講して、平和の大切さをあらためて感じる事ができました。私は、戦争を経験したことがありません。祖父や祖母から聞く話でしか戦争を感じる事はできませんでした。「戦争はぜ、てほい/ないこと」というのは昔から聞いていましたが、具体的な事は知りませんでした。今回、原爆についての話をたくさん聞くことができて、戦争についてもう一度考えることができました。死体で埋まった川、死体の臭い。戦争をしなければよかったのか。なぜ原子爆弾を投下しなかったのか。もう、過去はもうどうもできませんでした。自分たちが戦争のない世界を作らうと思いました。

私たちが5月に広島を訪問する。原爆ドームや平和記念公園を見てたくさんのお話を学びたいと思いました。今回学んだ知識を自分の未来や日本の未来、世界の未来に生かしたいと思っています。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/28

原爆先生の授業には何となく感動を覚える。しかし、  
 直径5kmを超えた原子爆弾、重量が1000kgに達する  
 都市を壊すほどの威力をどうやって。候補には北都府も  
 あたるとおどろきしたが、横浜や新潟、京都も候補に  
 採っていた。もし、横浜に投下されたら、静岡にも影響が  
 あつたかと考えることもできる。京都も、もし使われて  
 いたら、昔ながらの古い建物が壊れてしまった。その事に  
 おどろきました。長崎は原子爆弾が投下される前の投下  
 された都市が小倉だ、ということに気がついた。もし、天候が  
 良かったら小倉に投下されていた、今の建物は、今と違  
 った。原子爆弾の直径50cm、中心は100万℃、周囲  
 は7000℃、威力は30000tに相当する。1分間の放射  
 量は、約100tに相当する。太陽の放射量の10%に相当する。  
 当時の原子爆弾は、今と違って威力が大きい。その  
 威力も戦争には役に立たない。原子爆弾は、もう使わ  
 ない方がいいと思ふ。原爆資料館へ行っても、  
 一歩も歩くと放射能が検出される。それではどうして



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2 / 28

核問題が今も続いている中で、長崎 石島の原子爆弾に関する知識は必ず必要です。まず、原爆の仕組みについて、特に積まれたウランの核分裂の量が当時の技術では一部しか反応しなかったという事で、今の技術ではさらにひどい惨状を起すかも知れないと思います。日本がこれまで先頭を立って進めてきた非核化も、世界ではあまり進んでいません。また、8年前の東日本大震災で起きた原発事故も核のおそろしさも再認識した事件の一つでした。これらのことを今回の特別授業で思い出し、広島長崎のことを風化させてはいけません。一層強く思いました。5月に修学旅行で行く広島で、当時の惨事を自分の知識・少ない経験も使って想像お上り大変役に立つと思います。今もなお、原爆で被爆したことによる原爆病に苦しんでいる人がいる。というお話を聞いて、同情ではなく、私たち戦争知らない世代に、原爆のおそろしさや戦争のくわい体験談を伝えていた方がいい感謝の気持ちでした。今回のお話をこれからの後世には私たちが伝えていくことは必ず必要だと思います。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/28

私は、受講の前は、日本は広島と長崎に「原爆」を落とされた、世界で一つだけの国だと思っていました。でもそれ以上でもそれ以下でもありませんでした。でも、お話を聞き、そんな1つのたった1kgのウランで、14万人を一気に殺してしまえる。その後も、10万人が苦しめられる。そんな残酷なことが2度と繰り返されないように強く思いました。原爆「リトルボーイ」に積まれていたウランは60kg。その全てが核分裂を起こしていったら、日本の半分は焼土と化していったでしょう。と私の中で結論が出ました。また、死体を運び、ガソリンをかけ、焼くという命令を推し進めることのできた、当時の軍隊の忠誠心はすばらしいと感じました。私だったら...と考えると、そんな恐くて何が起るかわからないような状況では身が震えたと感じました。原爆のことを何も知らなかった私でしたが、人の体が1瞬にして蒸発し、炭になり、無くなってしまふ。3000℃の中に入った人たちが何を思ったのか、残された人たちの体や心の傷の深さ、私は原爆のことをもと知り、原爆の恐ろしさを身近な人から伝えていきたいと思いました。本当にありがとうございました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/28

今回の特別授業では、原爆の詳しいことをたくさん聞くことができて、びっくりしたことや嬉しいと感じることが色々ありました。

原子爆弾を投下するの1ヶ月前おこなっていた京都が「古い都で寺院などの文化財がたくさんある」「日本人の感情を考慮した」という理由で投下するのをやめたと知り、少しびっくりしました。

原子爆弾が投下されると、すべての建物が壊れてしまったり、人間の水分がすぐに蒸発して炭に化して人の形が無くなって消えてしまうというのを聞いて、原子爆弾の威力はやっぱり恐ろしいものなんだと思いました。また、何ヶ月前のことなのに、今でも原爆症というものが残っていると聞いてとてもこわいと思いました。

60kg中の1kgだけが核分裂しただけで広島を壊れてしまったのに今の技術ではその何十倍以上もの弾さじができるというので、その威力は全然想像することができませんでした。

太陽の表面温度より熱いものが自分たちの真上にあると思うとすごく恐ろしいと思いました。地上で6300℃という温度と言われても全く想像ができませんでした。

5月にある広島研修では今回聞いたことを思い出しながら、原爆資料館を見ていきたいと思いました。





じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/28

私は、特別授業を受講して、想像を絶する悲慘さに驚きました。私は原爆資料館に行き、大したことがあるので、とても心の痛むものはかりでしたが、実際はもっと悲慘な大ことを知りませんでした。私が見た展示物は人間の姿を写しているものがかりでしたが、人間の姿がなくなるほどの被害が大きい、苦しむ者がたくさんいたことを知りました。こんなにもたくさん命をうばい、苦しめられることが原子爆弾で瞬時に起こることを初めて知りました。しかし、おれも少しおれも少しと思、大のほ、こんな悲慘な大ごとの方かてなり、今の方が苦しむ思いにしているのに、現在も世界中に核爆弾が1万5千個あることです。しかも、広島にあると大原30発の核爆弾も1万5千個、しかも、第二次世界大戦が終、から、世界中不平和な世界にしていくために努力している人がたくさんいるのに、自分の国の利益を求めた戦争を起さうとしてくる人がいます。それでは戦争が苦しむ思いをしていく方にもういけません、これを教訓にして二度とおこさないよう、努力していくべきだと思います。戦争を実際に体験した人の話を聞くことも少ないので、語りたて、世界中の人が戦争のことを学んでほしいと思いました。それ、歴史を学ぶのは、これから生きていくためだと思、戦争を攻撃された国を憎むためではなく平和な世界のためは何をすればいいか、よく考えてほしいと改め思、ました。それ、授業を学んだことを広く伝えて、みんなが平和についてよく考えたいです。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/28

私は今回の授業を通して改めて戦争や原爆のおそろしさと知ることができました。絶対にくり返してはならないと強く思いました。

この時、広島や長崎におとされた原爆よりもはるかに力のある原爆が世界中に15000発もあることはじめて知りました。もし、それは原爆がどこかに落とされたとしたらその国はどうなってしまうか考えました。日本に落とされたとしたら日本はなくなってしまうのではないかと思ひ、原爆のこわさを本当に感じました。また義三さんの「きれいすぎる」という言葉がとても印象的でした。とても人は姿が表されているのに、そんな言葉が出るのは何故。現実はずらいものだったのだと知りました。さらに、たった1kgのウランで広島が壊れ変わってしまうこともはじめて知りました。たった1kg、たった1つの原子爆弾で、たったのいしゆんで1つの大きな都市はなくなり、多くの人の命がうばわれてしまったと思ひました。戦争が終わり、日本が平和な今も、原爆しょうで苦しんでいる方がいることも、とてもつらいことです。原爆が落とされた直後には、人が人間の姿ではなくなっているし、川の水でさえもなくなってしまうし、大きな建物がくずれ落ちたこと、多くの人がとけおとすこと、おたを押しよせて人と病める人... 原爆は本当に大きな傷を残していたとわかりました。

今の世界にはこの原爆のことを知らぬ人がたくさんいます。日本人の私でも、今回初めて知ったことがたくさんありました。だからこそ、今より多くの知識を深く世界に発信してほしいと思ひます。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/28

僕は授業を始めるまで、原子爆弾の名前しか知らなくて  
どのような物かは、あまり知りませんでした。先生のお話を  
聞いていると、とても悲惨だった事がよくわかりました。僕  
の祖母の母は、1945年の8月6日広島の実でとても明るい光  
を見たことがあると話してくれたことが何回かありました。  
また母の実家は小倉で8月9日に原爆が小倉におちいたら  
生まれてなかったかもね、と何回もいわれてきました。しかし僕は  
両方の話をまじめに聞いたことがなく終わった話なんてどう  
でもいいとおもっていました。しかし池田さんのお父様が体験  
したとは、僕が考えていたスケールをはるかにこえていて、  
義三さんの苦労や悲しみが胸にさりました。また広島と  
長崎に原爆が投下された直後の爆心地での半径500m  
におよぶ3000℃の高熱でいっしょにして、死んでしまった人  
は、水分がいっしょにして蒸発して炭化してしまうのは、とても  
おそろしいと思いました。被爆者数が24万人死者数14万人という  
とても大きな人の数にもおどろき目が点になってしまいました。  
今日本の人は、みんな笑顔で生活できています。しかし世界には、  
155千もの原爆が存在します。被爆国日本の国民の1人として  
未来にこの事を伝えていきたいです。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/28

原爆の恐しさを改めて知るとともに、想像以上の被害であることを知った。私は前から原爆というものに興味を持ち、ある程度のごとは、だいたい知っていた。しかし、実際の被爆者に話を聞いたことはないし、もちろん私自身が被爆者ではない。だから、今回の授業で原爆のことを被爆者の父をもつ方に話をしてもらい、戦争の残酷さ、恐しさなどを生々しく聞いた。私の原爆に対する想像と実際の原爆、これが大きくかけ離れていた。まず驚いたのは、原爆の威力である。3000mもある中に私がもしいたら...それを考えるだけで見ぶるいしてしまう。希望に満ちた、ほかの命がいっしょに消えてしまう。それだけに留まらず、生き残った者にも後いこうと大切な人を失って悲しみを与え、苦しめ続ける。そのようなことが私は少ししかわかっていなかった。そして、エラ・ゲイという名が機長の母の名だ、ということにも驚いた。その時何を考えて、名付けたのか。誇りに思っていたのだろうか。私にはその理由はわからないが、原爆について私と同じく、表面上のことだけしかわかっていなかったのではないかと思う。もし、私がこの授業を受講していなかったら、同じことをくりかえしていたかもしれない。またこの恐しさをわかっていない人も何人もいると思う。だから、このことを広めていくことが大切だと思う。被爆者も、少ししかいないから、広めていくのは、私たちしかいないと思う。で、



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/28

私は、原爆先生の授業を受講し、原爆のおわりにも強く感じ、また戦争は、絶対にしてはならないと思いました。私が特に印象に残ったところは、2つあります。1つ目は、広島市の人口に対して、死亡率が40%ととても高かったことです。初中大約2万人の人は、一瞬で亡くなったと聞いて、とても驚きました。さらに、今なお原爆病に苦しむ被爆者の方が多いの分かるも、原爆のざんぐさを強く感じました。昔の技術では、60kgのウランのうち1kgのみ核分裂をおこなただけですが、今の技術を原爆がおちたならと考えるだけであらうと思います。2つ目は、爆心地に近づくほどに増えるひどいやけどを負った被爆者の方々です。斜め前方に出たうややけただけたひふ、私は、この言葉も聞いたとき、怒りを感じました。また、なぜ人々争い、大量に人を殺してしまうのかとても疑問に思いました。人の良いところは、互いの意見を尊重し、それを受け入れるからこそ共存できるのだと思います。だから「殺す」という手段は、良くなりと思いません。受け入れられない条件を出した相手国も悪いと思いません。戦争なんでも言葉がある身体あかいいと思いません。いつか武器や戦争のない世界かできることができるといいなと思いません。